

令和6年度

京都市明るい選挙推進事業実施状況報告書

< 常時啓発 >

1	論文コンクール「わたしはこう考える」	1ページ
2	明るい選挙をすすめるポスター募集	5ページ
3	明るい選挙出前授業	8ページ
4	選挙物品の貸出し事業	9ページ
5	イベント等における啓発	10ページ
6	選挙事務への従事	12ページ
7	政治倫理化運動の啓発	13ページ
8	区明るい選挙推進セミナー	13ページ
9	市・区明るい選挙推進協議会の運営	14ページ
10	明るい選挙推進員の育成	15ページ
11	地域団体との連携	16ページ
12	(公材) 明るい選挙推進協会事業への参加	17ページ
13	インターネットでの啓発	18ページ

< 選挙時啓発 >

1	令和6年7月7日執行京都市議会議員中京区選挙区補欠選挙	19ページ
2	令和6年10月27日執行衆議院議員総選挙	20ページ

論文コンクール「わたしはこう考える」

1 目的

明るく豊かな社会を築くため、将来の政治参加に備え、青少年にふさわしい論題を設定して、将来、有権者となる若者から作品を募集することにより、生活・選挙・政治に対する関心を持たせ、自由な意思をもった自覚ある有権者を育成する。

2 主催

京都市・区明るい選挙推進協議会、京都市・区選挙管理委員会

3 後援

京都新聞、京都府私立中学高等学校連合会、京都市教育委員会

4 応募規定

(1) テーマ

- 1 こんな京都に住みたい
- 2 S D G s 達成のために
- 3 わたしが感じる「国際都市京都」
- 4 災害の多い国に暮らす
- 5 わたしは怒っている

(2) 応募資格

市内在住又は市内に通学・通勤している令和7年3月31日現在中学生以上19歳未満の方

(3) 論文字数

本文1,000～1,200字

※令和6年度から応募フォームからの応募を可能とした。

(4) 締切

令和6年9月13日（金）

5 審査員

京都市明るい選挙推進協議会副会長	日比野 敏陽
京都市明るい選挙推進協議会委員	村上 祐子
京都市教育委員会指導主事	細井 悠一
京都市教育委員会指導主事	上杉 まり
京都市選挙管理委員会事務局長	松浦 卓也

6 審査会

令和6年 5月 テーマ決定

令和6年12月 最優秀賞・京都新聞賞（5点）、優秀賞（5点）、入選（32点）決定

7 応募状況

	中学校	高校	一般	合計
1 こんな京都に住みたい	53	35	0	88
2 SDGs達成のために	75	25	0	100
3 わたしが感じる「国際都市京都」	19	6	0	25
4 災害の多い国に暮らす	57	20	0	77
5 わたしは怒っている	61	18	0	79
(テーマ外)	2	0	0	2
合計	267	104	0	371
前年度応募数	460	293	0	753
前年比(△は減少)	△193	△189	0	△382

※令和6年度から応募可能とした応募フォームからの応募数：5件（全て中学生）

8 入賞者

(1) 最優秀賞・京都新聞賞（5点）

令和7年2月1日（土）の京都新聞夕刊紙上に掲載

テーマ	氏名	学校名	学年
こんな京都に住みたい	山尾 颯太	京都府立北桑田高等学校	1
SDGs達成のために	宮本 真司	京都市立二条中学校	2
わたしが感じる「国際都市京都」	大谷 泉子	京都市立下鴨中学校	3
災害の多い国に暮らす	松尾 昂	京都市立久世中学校	2
わたしは怒っている	松山 聖哉	京都市立下鴨中学校	3

(2) 優秀賞 (5 点)

テーマ	氏名	学校名	学年
こんな京都に住みたい	吉崎 久真	京都市立上京中学校	2
わたしは怒っている	齊野平 真珠	京都市立下鴨中学校	2
	佐伯 晴子	京都市立下鴨中学校	3
	塩貝 穂佳	京都府立北桑田高等学校	1

他 1 名

(3) 入選 (32 点)

テーマ	氏名	学校名	学年
こんな京都に住みたい	大 嶽 紬	京都市立下鴨中学校	2
	蒲 生 ことみ	京都府立北桑田高等学校	1
	山 田 未音	京都府立北嵯峨高等学校	2
SDGs 達成のために	安 達 心春	京都市立醍醐中学校	3
	井 伊 一雅	京都市立下鴨中学校	3
	魚 田 詩帆	京都市立醍醐中学校	3
	林 彩月	京都市立下鴨中学校	3
	金 本 こと美	京都府立北嵯峨高等学校	2
	田 村 二胡	京都府立北嵯峨高等学校	2
	岡 田 美咲	京都府立北嵯峨高等学校	3
わたしが感じる「国際都市京都」	古 川 莉奈	京都市立下鴨中学校	3
	矢 根 希林	京都市立下鴨中学校	3
	福 田 栞奈	京都府立北嵯峨高等学校	1
災害の多い国に暮らす	高 嶋 光	京都市立下鴨中学校	2
	八 巻 叶	京都市立松原中学校	2
	井 上 栞那	京都市立醍醐中学校	3
	畑 谷 いゆら	京都市立下鴨中学校	3
	保 田 凱至	京都市立醍醐中学校	3
	山 崎 暖真	京都市立醍醐中学校	3
	角 香結里	京都府立洛東高等学校	1

災害の多い国に暮らす	土屋 実羽	京都府立北嵯峨高等学校	3
	平井 美友乃	京都府立北嵯峨高等学校	3
わたしは怒っている	矢野 貴大	京都市立西京高等学校附属中学校	1
	上羽 裕人	京都市立大枝中学校	2
	中村 純	京都市立醍醐中学校	2
	岡田 菜奈	京都市立醍醐中学校	3
	井爪 笙太	京都府立北桑田高等学校	1
	外田 健一	京都府立北桑田高等学校	1
	林 花穂	京都府立北桑田高等学校	1
	若澤 和矢	京都府立北桑田高等学校	1
	西尾 咲希	京都府立北嵯峨高等学校	2
	吉田 岳	京都府立北桑田高等学校	3

9 優秀作品集

最優秀賞・京都新聞賞及び優秀賞の作品計10点を掲載した作品集を作成し、入賞者、市内学校及び図書館等に配布

合わせて京都市情報館（市選管Webサイト及びデジタルブックサイト）へも掲載

10 ゼスト御池での入賞作品展示会

最優秀賞・京都新聞賞及び優秀賞の作品計10点を展示

（1）期間

令和7年2月6日（木）～2月13日（木）午前10時～午後8時

（2）場所

ゼスト御池 寺町広場

明るい選挙をすすめるポスター募集

1 目的

市内の児童・生徒から明るい選挙を呼びかけるポスターを募集することにより、小さい頃から政治や選挙に親しみ、社会参加への興味・関心を育むとともに、入賞作品の展示を通じて、広く有権者に対し、明るい選挙への関心を高める。

2 主催

京都市・区明るい選挙推進協議会、京都市・区選挙管理委員会

3 後援

京都市教育委員会

4 応募規定

(1) 応募資格

市内在住又は市内に通学している小学校、中学校、高等学校及び総合支援学校の児童・生徒（一人一点、自作のものに限る。他者の著作物（インターネット等にある写真やイラスト等）を模倣した作品やA Iにより生成した作品は不可。）

(2) 色・大きさ

画用紙の四ツ切、八ツ切若しくはこれに準じる大きさ。描画材料及び色彩は自由。
なお、デジタル機器等での製作も可能とするが、提出物は印刷されたものとする。
※令和6年度からデジタル機器等により製作した作品の応募を可能とした。

(3) 締切

令和6年9月6日（金）

5 審査員

京都市明るい選挙推進協議会副会長	日比野 敏陽
京都市教育委員会指導主事	野田 千幸
京都市教育委員会指導主事	木下 藤栄
京都市選挙管理委員会事務局長	松浦 卓也

6 審査会

令和6年9月19日（木）京都市役所消防庁舎
特選（6点）及び入選（20点）作品を決定

7 応募状況

	応募数	前年度応募数	前年比
小学校	1 3	2 9	△ 1 6
中学校	3 0	1 0 9	△ 7 9
高等学校	1 0 3	1 1 3	△ 1 0
合計	1 4 6	2 5 1	△ 1 0 5

※令和6年度から応募可能としたデジタル機器等で製作した作品の応募数：0件

8 入賞者

(1) 入賞者一覧（特選6点、入選20点）

種別	氏名	学校名	学年	第2次 審査		中央 審査 提出 ※3
				提出 ※1	入賞 ※2	
特選	芳賀 里衣	京都市立開晴小中学校	7	◎	イ	
	上原 乙葉	京都市立勸修中学校	2	◎	ウ	
	森本 凜音	京都精華学園高等学校	2	◎	ア (イ)	*
	長崎 朱里	京都精華学園高等学校	3	◎	イ	*
	長谷 柚玖	京都精華学園高等学校	3	◎	イ	*
	寄友 大毅	京都精華学園高等学校	3	◎	イ	* 1
入選	畠 福途	京都市立錦林小学校	4			
	山崎 たき	京都市立御室小学校	4			
	中尾 柚希	京都市立檉原小学校	5			
	八木 杏樹	京都市立新町小学校	6	◎		
	上島 杏菜	京都市立開晴小中学校	7			
	上松 正道	京都市立開晴小中学校	7	◎	イ	
	宇野 亜紀	京都市立勸修中学校	2			
	河野 倫己	京都市立花背小中学校	8			
	占部 晴子	京都成章高等学校	1			
	岩間 紅波	京都精華学園高等学校	2	◎	イ	
	竹濱 風香	京都精華学園高等学校	2			
	中村 陽向	京都精華学園高等学校	2			

入選	貫名 瑚乃	京都精華学園高等学校	2	◎	イ	
	林 芽衣香	京都精華学園高等学校	2	◎	イ	*
	樋口 実梨	京都精華学園高等学校	2			
	藤井 鼓七都	京都精華学園高等学校	2			
	小寺 花音	京都精華学園高等学校	3			
	塩崎 七海	京都精華学園高等学校	3	◎	ア (ア)	* 2
	竹谷 和香奈	京都精華学園高等学校	3			
	山本 涼葉	京都精華学園高等学校	3			

※1 ◎印の作品は、京都府選挙管理委員会が募集する「明るい選挙啓発ポスター作品募集」の第1次審査に合格したものとして、京都府選挙管理委員会における第2次審査に提出（12点）

※2 京都府の第2次審査において、下記摘要のとおり入賞（11点）

ア 特別賞（2点）

（ア）京都府選挙管理委員会委員長賞（1点）

（イ）京都府明るい選挙推進協議会会長賞（1点）

イ 入選（8点）

ウ 佳作（1点）

※3 *印の作品は、（公財）明るい選挙推進協会が募集する「明るい選挙啓発ポスターコンクール」（中央審査）に提出（6点）

*1の作品については、「文部科学大臣・総務大臣賞」を受賞

*2の作品については、「公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞」を受賞

9 優秀作品集

特選6点、入選20点を掲載した作品集（2025年カレンダー）を作成し、入賞者、市内学校等に配布

また、京都市情報館（市選管Webサイト）へ優秀作品を掲載

10 ゼスト御池での入賞作品展示会

特選6点、入選20点の計26点を展示

（1）期間

令和7年2月6日（木）～2月13日（木）午前10時～午後8時

（2）場所

ゼスト御池 寺町広場

明 る い 選 挙 出 前 授 業

1 目 的

小学校、中学校、高等学校、大学の児童、生徒、学生等を対象に、選挙制度や投票についてわかりやすく解説したり、公職選挙法に準じた模擬投票を体験する「明るい選挙出前授業」を実施し、政治や選挙に真摯に向き合うことができる有権者の育成を図り、若年層全体の政治や選挙に対する意識を高める。

2 内 容

市教育委員会、区選挙管理委員会の協力のもと、市内の小学校、中学校、高等学校の児童、生徒、学生等を対象に選挙制度の解説や模擬投票の体験を行う出前授業を実施した。

3 実施状況（小学校 2 校 2 回、中学校 2 校 2 回、高等学校 2 校 3 回、支援学校 2 校 2 回 計 1, 4 6 2 名）

校 種	開催日	学校名	学 年	人 数	実施選管 (協力機関等)
高等学校	令和6年4月25日(木) 13:45～14:30	京都成章 高等学校	3	3 8 2 名	市選管
小学校	令和6年6月6日(木) 12:30～15:00	同志社小学校	3	8 7 名	左京区選管 (府選管)
中学校	令和6年11月29日(金) 13:05～14:55	京都市立 高野中学校	3	8 8 名	左京区選管
高等学校	令和6年11月29日(金) 14:30～15:20	京都教育大学附属 高 等 学 校	2	1 5 1 名	市選管
中学校	令和6年12月9日(月) 13:15～15:00	京都市立 八条中学校	3	9 3 名	市選管 (下京税務署)
支援学校	令和6年12月13日(金) 13:10～14:30	京都市立 西総合支援学校	高 3	1 0 名	西京区選管
支援学校	令和7年2月13日(木) 12:55～14:30	京都市立 鳴滝総合支援学校	高 1 ～ 3	7 1 名	右京区選管 (右京区学生選 挙サポーター)
高等学校	令和7年2月13日(木) 13:45～14:30	京都成章 高等学校	2	5 1 9 名	市選管
小学校	令和7年2月17日(月) 13:50～15:25	京都市立 広沢小学校	6	6 1 名	右京区選管 (右京区学生選 挙サポーター)

(令和5年度実績) 小学校 2 校 2 回、中学校 1 校 1 回、高等学校 1 校 1 回、支援学校 1 校 1 回
計 3 8 1 名

選挙物品の貸出し事業

1 概要

生徒会選挙等が行われる学校等に対し、実際に選挙で使用される選挙物品（投票箱、記載台等）を貸出し、将来の有権者である児童・生徒等が投票、開票を身近に体験することによって、政治や選挙への関心を高める。

2 学校等に対する区別貸出し状況（令和7年3月31日現在）

行政区	貸出し回数及び貸出し先					
	令和6年度			令和5年度		
北区	3	中学校 小中学校 その他	1 1 1	6	小学校 中学校 高等学校 その他	2 2 1 1
上京区	4	中学校 高等学校 支援学校 その他	1 1 1 1	4	中学校 支援学校	3 1
左京区	5	小学校 小中学校 高等学校 支援学校	1 1 2 1	3	中学校 支援学校	2 1
中京区	2	中学校 高等学校	1 1	3	中学校 高等学校	2 1
東山区	3	大学 支援学校 その他	1 1 1	3	大学 支援学校 その他	1 1 1
山科区	2	支援学校 その他	1 1	3	中学校 支援学校 その他	1 1 1
下京区	1	支援学校	1	1	その他	1
南区	2	中学校	2	2	中学校	2
右京区	7	中学校 高等学校 支援学校	2 1 4	7	中学校 高等学校 支援学校	3 2 2
西京区	4	中学校 高等学校 支援学校	2 1 1	4	中学校	4
伏見区	7	中学校 高等学校 支援学校 その他	2 2 2 1	7	中学校 高等学校 支援学校	2 3 2
計	40	小学校 中学校 小中学校 高等学校 大学 支援学校 その他	1 1 2 8 1 1 5	43	小学校 中学校 高等学校 大学 支援学校 その他	2 2 7 1 8 4

※ その他は、部落解放同盟京都府連合会、京都市消防局消防団・自主防災推進室、京都市動物園、山科青少年活動センター、南部区画整理事務所

※ 明るい選挙をすすめるポスター募集及び論文コンクール等、各種啓発事業の印刷物に制度の紹介記事を掲載するとともに、ホームページにおいても周知を行った。

イベント等における啓発

1 概要

市主催の事業及び地域のイベント時や高校・大学等と連携するなど、様々な機会を通じて政治や選挙への積極的参加を呼びかけ、将来の有権者である児童・生徒等や新有権者をはじめとする若年有権者の政治や選挙への興味・関心を高める。

2 実施状況

実施 選管	事 業 名	事 業 の 内 容
市選管	「京都市はたちを祝う記念式典」公式サイト及び公式LINEでの啓発	○公式サイト及び公式LINEにおいて、市選管が運営する若者向け選挙啓発サイト「知ッテル！？選挙」を案内 ・公式サイト：令和6年10月15日（火）掲載 ・公式LINE：令和6年10月18日（金）投稿
	選挙啓発物品の配布	○「第60回京都障害児者親の会協議会 はたちを祝うつどい」において、めいすいくん蛍光ペンを式典参加者に配布 ・日時：令和7年1月13日（月・祝） 13時20分から15時20分 ・場所：京都テルサ テルサホール
		○京都市動物園「第10代目アニマル園長選挙」で、選挙で実際に使用している投票箱を5台設置し、来場者に啓発物品（めいすいくんクリアファイル）を配布 ・日時：令和7年2月4日（火）～3月2日（日） ・場所：京都市動物園 （正面エントランス レクチャールーム前） ・投票数：2, 546人
上京区	中学生の職場体験受入	○区内中学生4名を職場体験として受け入れ、投票の流れ・選挙権の歴史・上京区における投票率について説明を行い、模擬投票を実施 ・日時：令和6年6月27日（木） 11時～12時
	選挙啓発冊子の配布・配架	○上京区内の高校・大学（平安女学院高等学校、鴨沂高等学校、同志社大学、同志社女子大学、京都府立医科大学、平安女学院大学）へ、公益財団法人明るい選挙推進協会発行の若者向け選挙啓発冊子（以下、「選挙啓発冊子」という。）の配布及び配架 ・日時：令和6年12月 ・高校：2高校に計約400部送付し、学校から配布 ・大学：4大学に計約1,250部送付し、大学で配架

中京区	選挙啓発物品の作成・配布	○中京区内の１１の小学校に対し、選挙啓発シャープンを作成し、配布 ・日時：令和７年１月３１日（金） ・対象：６年生（約８００人）
東山区	選挙啓発冊子・啓発物品の配布、模擬投票の実施	○東山区民ふれあいひろば２０２４において、選挙啓発キャラクター「めいすいくん」の着ぐるみを活用し、幼児等を中心とした来場者の注目を集めるとともに、その引率者・同伴者を中心に選挙啓発冊子等を配布 ・日時：令和６年９月２３日（月・休） ・場所：東山区総合庁舎 ○京おんな大和撫子選手権 うちの看板むすめ！ 大学生が投票に興味を持つきっかけとして、京都女子大学の学園祭「藤花祭」にて学生と協働で選挙啓発のブース（模擬投票の実施）を出展 ブースでは、藤花祭に出展する学生サークルや個人を候補者と見立てた模擬投票を実施 ・日時：令和６年１１月２日（土）～４日（月・休） ・場所：京都女子大学
南区	選挙啓発冊子・啓発物品の配布	○南区民ふれあいまつりにおいて、選挙啓発冊子や啓発物品を配布 ・日時：令和６年１１月１０日（日） ・場所：唐橋西寺公園・唐橋小学校体育館
右京区	研修会への講師派遣	○八幡市及び綴喜郡内各市町村明るい選挙推進協議会委員等を対象とした「白ばら研修会」へ、右京区学生選挙サポーター３名を講師として派遣 ・日時：令和７年３月１３日（木） １４時～１５時３０分 ・場所：井手町町役場大会議室 ・講演テーマ：若者と政治をつなげるための取り組みについて ・参加者：約６０人

選挙事務への従事

1 概要

大学生等に選挙事務へ従事してもらうことにより、若年有権者世代の選挙への関心を高める。

2 実施状況

実施 選管	事 業 名	事 業 の 内 容
右京区 選管	衆議院議員総選挙における 大学生の投票所立会人従事	右京区学生選挙サポーター（大学生）が期日前 投票所の立会人として従事。 ・日時：令和6年10月22日（火）、26日（土） ・場所：右京区役所 ・参加人数：2名

政治倫理化運動の啓発

1 目的

「贈ら**ない**、求め**ない**、受け取ら**ない**」の三**ない**運動を展開するため、印刷物に啓発記事等を掲載する。また、あらゆる機会を通じ寄付禁止の周知徹底を図る。

2 方法

(1) 啓発記事の掲載

- ・講演会などでの配布チラシに啓発記事を掲載
- ・衆議院総選挙のお知らせリーフレットに啓発記事を掲載し、全戸配布。あわせて、候補者が行える選挙運動の内容について掲載

(2) 各区窓口等でリーフレット（公益財団法人明るい選挙推進協会作成）を配布

(3) ホームページでの啓発

区明るい選挙推進セミナー

1 目的

政治や選挙に関連するテーマを取り上げたセミナーへの参加を通じ、政治や選挙への自主的

- ・積極的な姿勢を養うことを目的とする。

2 主催

区明るい選挙推進協議会、区選挙管理委員会 等

3 開催状況

実施 選管	開催日	テーマ	講師	参加 人数
上京区	令和7年 2月4日(火)	ネットと選挙 ーSNSデモクラシー!?ー	京都新聞社 論説委員長 高田 敏司	36名

市・区明るい選挙推進協議会の運営

1 目的

明るい選挙推進事業の総合的な企画検討、啓発に関する事項の協議及び市・区推進協議会間連携のための連絡調整を行い、効果的な活動を図る。

2 内容

(1) 市明るい選挙推進協議会

ア 市明るい選挙推進協議会総会の開催

イ 各区推進協議会との連絡調整・連携

(2) 区明るい選挙推進協議会

ア 主な活動内容

(ア) 各区推進員に対する研修会の実施、啓発冊子の配布等

(イ) 市推進協議会との連絡調整・連携

イ 区推進協議会委員の人数等（令和7年3月31日現在）

	男	女	計
北 区	5	2	7
上京区	6	2	8
左京区	4	3	7
中京区	5	2	7
東山区	1	3	4
山科区	3	2	5
下京区	7	3	10
南 区	6	4	10
右京区	4	4	8
西京区	4	3	7
伏見区	4	1	5
合 計	49	29	78

明 る い 選 挙 推 進 員 の 育 成

1 目的

地域に根ざした活動を展開する人材を育成することにより、明 る い 選 挙 の 推 進 と 有 権 者 の 投票参加意識の向上を図る。

2 主な活動内容

- (1) 各区推進協議会が開催する研修会への参加
- (2) 各区における街頭啓発実施

3 区明 る い 選 挙 推 進 員 の 人 数 等（令和 7 年 3 月 3 1 日 現 在）

行政区	推 進 員		
	男	女	計
北 区	3 6	1 8	5 4
上京区	3 5	1 6	5 1
左京区	2 2	2 9	5 1
中京区	1 8	2 0	3 8
東山区	1 5	1 8	3 3
山科区	2 8	1 8	4 6
下京区	2 6	2 6	5 2
南 区	2 0	3 1	5 1
右京区	2 4	2 4	4 8
西京区	3 8	1 3	5 1
伏見区	3 2	3 8	7 0
合 計	2 9 4	2 5 1	5 4 5

地域団体との連携

1 目的

明るい選挙の推進に役立つ事業等の開催について地域団体と連携することにより効果的な啓発を図る。

2 連携（共催）事業

「第62回夏期女性講座」（主催：京都市地域女性連合会）

政治講座担当として講師謝金を負担（全4回のうち2回）

（1）講義内容

日 時	テ ー マ	講 師
令和6年7月28日（日） 10:00～11:30	戦争と難問に翻弄される世界	京都産業大学名誉教授 田中 義皓 氏
令和6年8月1日（木） 10:00～11:30	人口急減社会と政治	京都新聞社論説委員長 高田 敏司 氏

（2）会 場 京都市生涯学習総合センター（京都アスニー）

（3）参加者数 7月28日：127名

8月 1日：125名

（4）そ の 他 京都市文化市民局と共催

(公財) 明るい選挙推進協会事業への参加

1 目的

(公財) 明るい選挙推進協会が開催する各種の会議への出席及び研修への参加により、明るい選挙の推進などについての知識を深めるとともに、他都市との情報交換を行い、活動に活かす。

2 内容

(1) 明るい選挙リーダーフォーラム（旧称：指定都市明るい選挙推進協議会会長等会議）

ア 日時等

令和6年11月7日（木）・8日（金） 於：リーガロイヤルホテル小倉（北九州市）

イ 参加者

村山会長、京都市選挙管理委員会事務局1名

(2) 代表者会議・全国フォーラム

ア 日時等

令和7年3月4日（火） 於：ホテルルポール麹町（東京都）

イ 参加者

村山会長（全国フォーラムのみ参加）

(3) 地域コミュニティフォーラム（近畿ブロック）

ア 日時等

令和6年6月12日（水） 於：ピアザ淡海（大津市）

イ 参加者

西京区選挙管理委員会事務局2名

(4) 若者リーダーフォーラム（東海北陸・近畿ブロック）

ア 日時等

令和6年9月7日（土） 於：A P名古屋（名古屋市）

イ 参加者

京都市明るい選挙推進協議会委員（公募委員）1名

(5) 都道府県・指定都市選挙管理委員会選挙啓発事務担当者研修会

ア 日時等

令和6年5月15日（水） 開催形式：オンライン

イ 参加者

京都市選挙管理委員会事務局2名

(6) 選挙出前授業の事例を紹介するセミナー（旧称：選挙出前授業見本市）

ア 日時等

令和7年3月18日（火） 開催形式：オンライン

イ 参加者

京都市選挙管理委員会事務局1名

インターネットでの啓発

1 目的

各種選挙に関する情報や啓発事業の案内を、インターネット（ホームページ）を活用することにより広く市民に提供し、併せて政治や選挙への意識を高める。

2 発信内容

（１）京都市情報館（市選管Webサイト）

ア 啓発事業の案内

- ・論文コンクール「わたしはこう考える」：募集要項及び最優秀賞・優秀賞作品を掲載
- ・明るい選挙をすすめるポスター募集：募集要項及び入賞作品を掲載

イ 選挙制度の紹介

- ・選挙の基本原則や選挙の種類など選挙全般について紹介
- ・期日前投票、不在者投票、在外投票などの投票方法を紹介
- ・きれいな選挙を進めるために、寄付の禁止などについて紹介
- ・「よくある質問」コーナーにおいて、問合せの多い質問に対する回答を紹介

ウ 選挙に関する各種データの紹介

- ・選挙人名簿登録者数や新有権者数、在外選挙人名簿登録者数などを紹介
- ・平成１２年度以降に行われた全選挙の投票者数調、開票結果などを紹介

（２）小中学生向け選挙啓発ページ「選挙フレンズ（選挙を楽しく学ぼう）」

未来の有権者である小中学生を対象として、平成２２年６月から掲載

- ・「私たちの暮らしと選挙」「選挙のあれこれ」等、分かりやすくＱ＆Ａを掲載
- ・「選挙フレンズ検定」で学んだことを確認

平成２７年３月、「選挙フレンズ検定」番外編を追加

（３）新有権者世代向けページ「知ッテル！？選挙」

投票率の低下の著しい若年層を対象に、選挙に関する様々な情報を発信するため、

平成２３年１２月から京都市選挙管理委員会Webサイトに掲載

平成２８年３月、１８歳選挙権実施に向け改修

- ・有権者になるということ、選挙の実際（投票の方法、選挙運動等）
- ・若年有権者の投票率 など

3 ホームページへのアクセス数（令和６年４月～令和７年３月末まで）

（１）京都市情報館 選挙管理委員会事務局のホームページ

３１４，９１４件（令和５年度 ７０５，７０７件）

（２）若年層向けホームページ「選挙フレンズ」

５７，５１２件（令和５年度 ５７，３６９件）

（３）新有権者向けホームページ「知ッテル！？選挙」

５８，１５３件（令和５年度 ５７，７８７件）

京都市議会議員中京区選挙区補欠選挙における選挙時啓発

種別	項目	内容	期間
印刷物の 配布・掲示 等	期日周知ポスター	中京区内の市広報板、地下鉄駅構内、庁舎、大学、商店街、商業施設、地元金融機関等に掲出(1,500枚)	7/1～7/7
	選挙のお知らせリーフレット ※点字・音声版、文字拡大版も作成	中京区内の全戸配布、区役所、事業所、地下鉄各駅等窓口にて配布(7月1日号全市版同時配送)	7/1～
看板等の 掲出	横型大看板	京都市役所・中京区役所	6/21～7/7
広報媒体	ホームページ	京都市選挙管理委員会ホームページ	6/3～
	SNS	京都市公式アカウント(Facebook、LINE、X)で、投票参加の呼び掛け 中京区独自アカウント(Facebook)で、選挙期日等の情報発信	6/28～
	大学コンソーシアム京都メーリングリスト・「KYODENT」アプリ	大学コンソーシアム京都のメーリングリストやアプリを活用し、市内の大学を通じて学生に投票参加の呼びかけ等を実施	6/24～
	文字表示	市役所内市政広報モニター	7/1～7/7
	区民参加の会議資料	投票参加の呼び掛けや選挙期日等の情報を表示したオリジナルロゴを作成し、区民が参加する会議資料の余白部分に表示	6/12～
街頭等 呼掛け	街頭啓発	京都三条会商店街で街頭啓発を実施(市・区合同)	6/29
	啓発宣伝車	上部に啓発看板を取り付け、啓発放送を流しながら運行	7/3～7/7
	市・区公用車	啓発放送を流しながら運行	6/24～7/7
	庁舎内放送	市・区庁舎内	6/24～7/7
	各種館内放送	市関連施設、商店街、商業施設等	6/24～7/7
啓発物品	紙製うちわ	市・区にて配布(4,500枚)	随時

※この他、選挙のお知らせ(はがき)を全有権者に郵送

選挙時啓発一覧

種別	項目	内容	期間
印刷物の配布・掲示等	期日周知ポスター	市政広報板、市バス・地下鉄（車内広告及び地下鉄駅構内）、庁舎、大学、商業施設、商店街、市営駐輪場、地元金融機関等に掲出（約14,000枚）	10月16日～
	選挙のお知らせリーフレット ※点字・音声版、文字拡大版も作成	全戸配布、区役所・支所・出張所・地下鉄各駅等窓口にて配布	10月11日～
看板等の掲出	横型大看板、立看板	市役所・区役所・支所・出張所等に掲出	10月15日～
	のぼり	庁舎における掲出	10月18日～
広報媒体	文字表示	市役所内市政広報モニター、京都駅前電光掲示板等	10月16日～
	大型スクリーン	京都競馬場（ターフビジョン）	10月19・20・26・27日
	Y o u T u b e 広告	若年層をターゲットとしたバンパー広告（表示回数：約52万回）	10月18日～
	市公式SNS	京都市公式の各種SNS（Facebook・LINE・X）に投票参加を呼び掛ける投稿を掲載（10月16日、25日） 令和7年京都市はたちを祝う記念式典公式LINEで投票参加の呼び掛けを投稿（10月18日）	10月16日～
	大学コンソーシアム京都 メーリングリスト及び「KYO-DENT」アプリ	大学コンソーシアム京都のメーリングリストや学生向けアプリを活用し、市内の大学を通じて学生に投票参加の呼びかけ等を実施	10月15日
	ホームページ	京都市選挙管理委員会ホームページ	10月7日～
街頭等 呼掛け	区公用車	啓発放送を流しながら運行	10月18日～
	庁舎内放送	市・区庁舎内	10月16日～
	各種館内放送	市関連施設・商業施設、商店街等	10月中旬～
	街頭啓発	・ZEST御池寺町広場で啓発物品を配付（10月19日） ・京都シネマスクエアで啓発物品配布と投票呼掛けアナウンスの実施（10月19日、20日） ・KYOTO WOOD EXHIBITIONで啓発物品を配布（10月26日、27日） ・その他各区選管で実施（10月19日・22日・23日・24日・26日）	10月19日～
啓発物品	啓発物品 （紙製ポケットティッシュ）	市・区窓口等で配布（33,000個）	10月18日～

※この他、選挙のお知らせ（はがき）を全有権者に郵送